

「踏みしめて」 第9号

～町の様子を皆様に伝えていきます～



亀澤 進

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。
暖冬と言われる中、時折寒波が襲来し、身体への対応が追いつかない状況となっています。インフルエンザ等病気には十分に注意してください。
今年の干支は、60年に一度の「庚寅」です。庚（かのえ）は、草木の成長が行き詰まり、新たな形に変化しようとする状態を表しているそうです。寅は、春が来て草木が発生する状態を表しているそうです。総合すると、古きを破壊し新しきを期待すると読み取れます。今年は、世の中が大きく変化する年かもしれませんね。



さよなら昭和の森川橋

1月9日に開催された森川橋のさよならイベントは、終日大勢の方が訪れ、名残を惜しんでいただきました。また、新聞やテレビでも報道され、森川橋架け替えのPRもすることが出来ました。

新橋は、旧橋のように平らな形状で、橋長110.0m、全幅17.8m、車道3.0m×3車線、歩道3.5m×両側を計画しています。橋脚は2本となり、橋脚部分の歩道には踊り場が設けられます。

たんじゅん野菜で町づくり！

去る12月定例議会で、「炭素循環農法」の奨励について一般質問をしました。答弁では奨励ではなく紹介に留まりましたが、耕作放棄地の対策や健康志向の家庭菜園者にとっては、すぐにでも取り組めそうな画期的な農法であるため、当農法についてご紹介します。 ※一般質問は、議会だより42号に掲載

炭素循環農法は、農薬はもちろんのこと、堆肥や肥料も一切使用せず、深く耕さずとも土はフカフカとなり、水やりもほとんどする必要もなく、それでいて虫や病気に強いとても健康的な野菜が出来、更に連作を基本とし、収穫量も慣行農法の2～3倍も期待できる、低経費、低労力、高収量、無公害、安全・安心な自然農法です。現在、全国で静かなブームとなっており、長い方でもまだ数年。実践をしながら研究をしている状況にあります。

やり方を簡単に説明すると、キノコの廃菌床（椎茸収穫後のほだ木の皮など）を堆肥化しないでそのまま撒いて、5cmぐらい浅く土とかき混ぜます。微生物の餌として、松葉や木材チップ、生の雑草や野菜等々を表面に敷きます。腐敗しない炭素資材なら何でもいいそうです。作物に必要な養分を供給するための炭素資材の量は、年間で10アールあたり1トンが目安だそうです。

糸状菌が張り巡らされ炭素資材が分解され、数ヶ月でフカフカの土に変わっていきます。土は富栄養化していないので、虫もいなくいやな臭いもありません。

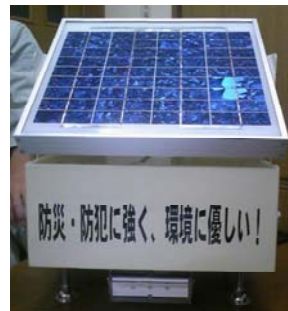
廃菌床を撒くのは最初だけ、炭素資材は2ヶ月おきぐらいに入れ、生産性（収穫量）を上げるためには、炭素資材を入れるたびに床を数cmかき混ぜるといいそうです。

注意することは、肥料や堆肥、ポカシも使用しないことです。自然の力を最大限に引き出すための、炭素資材だけを供給してください。

※詳しくはこちらをご覧ください。

炭素循環農法（百姓モドキの有機農法講座）<http://freett.com/tenuki/index.html>

STOP温暖化！防犯灯を見直す



世界的規模で進行している地球温暖化。それは、ひとりひとりのちょっとした気遣いと行動で防止することが出来ます。今回は生活に欠かせない防犯灯で、環境重視の防災・防犯対策をご紹介します。

太陽電池充電式LED照明システム

ご存じの通り太陽光発電は、CO₂を発生させないクリーンエネルギーシステムです。この装置を防犯灯に使用したらどうでしょう。平均20ワットの電力量が、設置台数分温暖化防止に貢献することになります。それだけではありません。ランニングコストとしてかかる電気料が0円となり、LED照明にすることで、ランプ交換がほとんど不用となります。また、地域が停電になっても明かりを灯し続けるため、防災にも十分役に立ちます。

しかし、当システムを設置する場合、一般の防犯灯より数倍のお金をかけなくてはなりません。町内会独自では、対応が難しいのが現状です。

そんな問題をクリアしようと、浜松市にある企業が独自で考え創り出した、「環境太陽灯エココロジール」という照明システムが生まれました。

これは、静岡県の特選推進事業に選定され、更に静岡県危機管理局補助金の対象事業にも選ばれました。(補助率は設置費の約50%)

◆鋼管柱を建柱し設置する場合の価格…257,000円 × 0.5 = 128,500円

また、無償設置事業も提案しています。

仕組みは、当製品に企業広告を掲載することで、毎月4,725円の広告掲載料を浄財として負担してもらいます。それを運営資金に充て設置します。契約は5年間で、満期後は1年ごとの更新となります。修理等発生した場合も無償で対応します。つまり、町内会としては設置者でありながら、一切コストがかからない仕組みとなっています。

現在、近隣で設置されている場所は、掛川の中小学校、第二小学校、原野谷中学校、磐田市のららぽーと、浜松市の浜松科学館、和合町公会堂などです。

森町にあっては、一灯につき1万5千円の補助金が予算削減に繋がります。今後は、広報等を使って紹介をしていただこうと考えています。

お問い合わせ先

株式会社サインクリエイト

浜松市南区白羽町 2495-3

電話 (053) 442-6011 FAX (053) 442-5740

第39回森町ロードレース大会

2月7日に森町ロードレース大会が開催されます。8時頃から12時頃までの間、通行規制がされますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。

今回は、昨年より400名余り多い2,824名の方がエントリーされました。ここ2年で700名以上の増加となります。全町上げて選手の皆様を歓迎したいと思います。

臨時議会の予定

1月26日に森町議会臨時会が招集されます。議案は、農免道路復旧工事の補正予算案、旭が丘中学校区学校給食拠点化施設整備工事請負契約の締結について、天方小学校校舎耐震補強工事請負契約の締結についての3件を予定しています。